

ぎおん支部ニュース

紙 支部役員発行
TEL 082-879-8124
FAX 082-879-8182
✉ kenmati@hiroshimairyo.or.jp

冬、来りなば春、遠からじ 日本四處の始りです。
お正月、早く、大きな地震、津波、恐ろしいニュースが日本列島を駆け抜け
れたに、少しは落ち着いたとほぐえ、子どもに真冬の厳しい冬を送ってあられる
方も、あられる。安佐南には、幸にも被害は無かったと!!
今迄の幾度となく大きな災害を経験、しながら、すばらしい復旧を遂げ
来り日本です。全国の方々の暖かい支援の力と手をとりあ、希望を持ち
2024/1/1日踏み出さずには、来一歩を力強く踏み出しましょう。

広島医療生協への ご加入、ご出資をお願いいたします

出資金は生協活動を支える“元手”です。
病院の維持修繕や医療機器の拡充、組合員活動な
どに活用します。
会費や寄付とは異なり、医療・介護の事業を行う
ための資本金の一部となるため、利息や配当はあ
りません。
県外への転居や死亡脱退の際には、手続きにて全
額返金いたします。
医療や介護、福祉…これからの未来につなぐた
めに、加入・出資をお願いします!

よろしくお願
いいたします

旧広島地方気象台 [広島市指定重要有形文化財]

広島市江波山気象館

HIROSHIMA CITY EBAYAMA MUSEUM OF METEOROLOGY

12月15(金) 学習会

運営委員6人で江波山気象館に学習会に
行きおた。台風や突風体験に大盛り上がり、
生んだ日の天気を調べたりおた。
原爆から1か月ほど後に起こった台風での天候記
録にたすさめつた方々の物語等、初めて知ること
ありおた。外壁やガラスの突き刺さった壁が被爆
当時のまま残っており、気象だけでなく原爆につ
いて学ぶことができた。

2月の予定

- 1日(木) 祭歌生(カラタケ) 10:00~
- 6日(火) カラたけくらし西己布 10:00~
- 16日(金) あじさい(小お) 9:30~
- 19日(月) マングマ 健康体操 13:30~
- 20日(火) 支部会 10:00~ 総会 13:00~
- 21日(水) さがやく 神田小荘 13:00~
- 27日(火) ラベーター(アロコ) 10:00~
- 29日(木) 利用委員会交流会 13:30~
(ほーり) 参加お待ちしています。



被爆保存壁
(建物の名称: 広島地方気象台)

正面の壁面は、昭和20年(1945年)8月6日8時15分に原子爆弾の爆風を受けました。爆心地からの距離は約3.7kmです。
平成3年度(1991年度)の気象館への改修工事においては、この部分の改修を行わず、現状のまま保存しました。
本館2階展示室には爆風により粉々に粉砕、吹き飛ばされた壁に突き刺さったガラスが残り残されています。

原爆当日の建物



チヨット一言

できるか
できるか
できるか
できるか
自分か
自分か
自分か
自分か

